



PC の接続と GUI へのログイン

この章では、Cisco ONS 15454 に PC とワークステーションを接続する方法と、Cisco ONS 15454 の Operation, Administration, Maintenance and Provisioning (OAM&P) ユーザ インターフェイスである Cisco Transport Controller (CTC) ソフトウェアへログインする方法について説明します。TL1 を使用して ONS 15454 に接続する手順については、『Cisco ONS SONET TL1 Reference Guide』を参照してください。

準備作業

この章では次の NTP (手順) について説明します。適用する DLP (作業) については、各手順を参照してください。

1. [NTP-A260 CTC 用コンピュータのセットアップ \(p.3-2\)](#) — PC またはワークステーションをこれまで ONS 15454 に接続したことがない場合は、この手順を実行します。
2. [NTP-A234 ONS 15454 へローカルにクラフト接続するための CTC コンピュータのセットアップ \(p.3-4\)](#) — ONS 15454 にオンサイトでクラフト接続するようにコンピュータを設定する場合は、この手順を実行します。
3. [NTP-A235 ONS 15454 に社内 LAN で接続するための CTC コンピュータのセットアップ \(p.3-6\)](#) — 社内 LAN を介して ONS 15454 に接続するようにコンピュータを設定する場合は、この手順を実行します。
4. [NTP-A236 ONS 15454 へのリモート アクセス接続のセットアップ \(p.3-7\)](#) — ONS 15454 にリモート モデムを介してアクセスするようにコンピュータを設定する場合は、この手順を実行します。
5. [NTP-A23 ONS 15454 GUI へのログイン \(p.3-8\)](#) — CTC にログインする場合は、この手順を実行します。

NTP-A260 CTC 用コンピュータのセットアップ

目的	この手順では、CTC を実行するように PC または UNIX ワークステーションを設定します。
工具 / 機器	Cisco ONS 15454 Release 7.2 ソフトウェアまたは Documentation CD
事前準備手順	第1章「シェルおよびバックプレーンケーブルの取り付け」
必須 / 適宜	必須
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	なし



(注)

ソフトウェア リリース 7.2 を実行中のノードへログインする場合は、JRE 1.4.2 または JRE 5.0 が必要です。4.5 以前のリリースを実行中のノードへログインする場合は、JRE 1.4.1 または 5.0 をアンインストールしてから、JRE 1.3.1_2 をインストールする必要があります。必要に応じて、「[DLP-A431 JRE バージョンの入れ替え](#)」(p.21-10) を実行してください。

- ステップ 1** コンピュータに適切なブラウザがインストールされていない場合は、次の操作を実行してください。
- Netscape 7.x をインストールする場合は、次のサイトからブラウザをダウンロードします。
<http://channels.netscape.com/ns/browsers/default.jsp>
 - PC に Internet Explorer 6.x をインストールする場合は、次のサイトからブラウザをダウンロードします。<http://www.microsoft.com>
- ステップ 2** CTC のパフォーマンスを向上させるために、JVM ヒープのサイズを小さくするには、「[DLP-A552 JVM ヒープサイズの調整](#)」(p.22-61) を実行します。
- ステップ 3** コンピュータが Windows PC の場合は、「[DLP-A337 Windows での CTC インストール ウィザードの実行](#)」(p.20-27) を行ってから **ステップ 5** へ進んでください。
- ステップ 4** コンピュータが UNIX ワークステーションの場合は、「[DLP-A338 UNIX での CTC インストール ウィザードの実行](#)」(p.20-31) を行ってください。
- ステップ 5** PC またはワークステーションが準備できている場合は、ネットワークに合わせて次のセットアップ手順を実行してください。
- [NTP-A234 ONS 15454 へローカルにクラフト接続するための CTC コンピュータのセットアップ](#) (p.3-4)
 - [NTP-A235 ONS 15454 に社内 LAN で接続するための CTC コンピュータのセットアップ](#) (p.3-6)
 - [NTP-A236 ONS 15454 へのリモートアクセス接続のセットアップ](#) (p.3-7)



(注) シスコの光機器へのアクセスに使用するコンピュータでは、ユーザ ID またはパスワードのキャッシュをディセーブルにするようにブラウザを設定することを推奨します。

Internet Explorer では、[ツール] > [インターネット オプション] > [コンテンツ] をクリックします。[オートコンプリート] をクリックし、[フォームのユーザ名およびパスワード] オプションをオフにします。

Netscape 7.0 では、[編集] > [設定] > [プライバシーとセキュリティ] > [フォーム] をクリックし、フォーム データの保存に関するオプションをオフにします。パスワードについては、[編集] > [設定] > [プライバシーとセキュリティ] > [パスワード] をクリックし、パスワードの保存に関するオプションをオフにします。パスワードは、暗号化して保存できます。Netscape 6.0 より前のバージョンでは、ユーザ ID とパスワードをキャッシュに保存できません。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-A234 ONS 15454 ヘローカルにクラフト接続するためのCTCコンピュータのセットアップ

目的	この手順では、ONS 15454 にオンサイトでローカルクラフト接続するように Windows PC または Solaris ワークステーションをセットアップします。
工具 / 機器	Network Interface Card (NIC)。イーサネットカードとも呼ばれています。 ストレート型 (CAT5) LAN ケーブル
事前準備手順	NTP-A260 CTC 用コンピュータのセットアップ (p.3-2)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	なし

ステップ 1 [表 3-1](#) に示す CTC コンピュータのセットアップ作業の中から、CTC の接続環境に合わせて必要なものを実行してください。

表 3-1 ONS15454 ヘローカルにクラフト接続するための CTC コンピュータのセットアップ

CTC の接続環境	CTC コンピュータのセットアップ作業
<ul style="list-style-type: none"> Windows PC から接続する。 アクセスするすべてのノードで Release 3.3 より前のソフトウェアが実行されている。 1 台の ONS 15454 に接続する。 ONS 15454 には備わっていないアプリケーション (ping や tracert [トレース ルート] など) へアクセスする必要がある。 	DLP-A50 スタティック IP アドレスを使用して同一サブネット上の ONS 15454 にクラフト接続するための Windows PC の設定 (p.17-58)
<ul style="list-style-type: none"> Windows PC から接続する。 CTC コンピュータが Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) 向けにプロビジョニングされている。 ONS 15454 で DHCP フォワーディングがイネーブルになっている。 ONS 15454 が DHCP サーバに接続されている。 	DLP-A51 DHCP を使用して ONS 15454 にクラフト接続するための Windows PC の設定 (p.17-61)
 <p>(注) ONS 15454 は、IP アドレスを提供しません。DHCP をイネーブルにした場合は、DHCP 要求を外部の DHCP サーバに渡します。</p>	 <p>(注) 最初のノードを立ち上げるときには、この作業を使用しないでください。この作業は、ONS 15454 で DHCP フォワーディングがイネーブルになっている場合にだけ使用してください。デフォルトでは、DHCP がディセーブルになっています。イネーブルにする場合は、「NTP-A169 CTC ネットワーク アクセスの設定 (p.4-9)」を参照してください。</p>

表 3-1 ONS15454 ヘローカルにクラフト接続するためのCTCコンピュータのセットアップ (続き)

CTCの接続環境	CTCコンピュータのセットアップ作業
<ul style="list-style-type: none"> Windows PC から接続する。 アクセスするすべてのノードでソフトウェア Release 3.3 以降が実行されている。 別々の場所にある ONS 15454 ノードに何度も接続するが、そのたびに PC の IP を再設定しなくてもすむようにしたい。 ONS 15454 には備わっていないアプリケーション (ping や tracert [トレース ルート] など) へアクセスしたり、使用したりしない。 ONS 15454 TCC2/TCC2P イーサネット ポートまたは FMEC LAN ピンに直接接続するか、ハブを介して接続する。 	DLP-A52 自動ホスト検出を使用して ONS 15454 にクラフト接続するための Windows PC の設定 (p.17-63)
<ul style="list-style-type: none"> Solaris ワークステーションから接続する。 1 台の ONS 15454 に接続する。 ONS 15454 には備わっていないアプリケーション (ping や traceroute など) へアクセスする必要がある。 	DLP-A53 ONS 15454 にクラフト接続するための Solaris ワークステーションの設定 (p.17-66)

ステップ 2 ストレート型 (CAT-5) LAN ケーブルを PC または Solaris ワークステーションの NIC から次のどれかに直接接続します。

- アクティブまたはスタンバイ TCC2/TCC2P カード上の RJ-45 (LAN) ポート
- ONS 15454 を物理的に接続するハブまたはスイッチ上の RJ-45 (LAN) ポート



(注) 独自のストレート型 (CAT-5) LAN ケーブルを圧着する方法については、『Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting Guide』を参照してください。



(注) シェルフを最初に立ち上げる場合は、PC を ONS15454 の TCC2/TCC2P カードの LAN ポートに直接接続する必要があります。

ステップ 3 CTC コンピュータのセットアップを終えたら、必要に応じて「NTP-A23 ONS 15454 GUI へのログイン」(p.3-8)に進みます。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-A235 ONS 15454 に社内 LAN で接続するための CTC コンピュータのセットアップ

目的	この手順では、社内 LAN を介して ONS 15454 にアクセスするようにコンピュータをセットアップします。
工具 / 機器	NIC。イーサネットカードとも呼ばれています。 ストレート型 (CAT5) LAN ケーブル
事前準備手順	<ul style="list-style-type: none"> • NTP-A260 CTC 用コンピュータのセットアップ (p.3-2) • ONS 15454 に LAN の接続に必要な情報 (IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど) がプロビジョニングされていること • ONS 15454 が社内 LAN に物理的に接続されていること • CTC コンピュータを、ONS 15454 SDH に接続可能な社内 LAN に接続しておくこと
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	なし

ステップ 1 コンピュータが社内 LAN にすでに接続されている場合は、[ステップ 3](#) へ進みます。ONS 15454 へクラフトアクセスするようにコンピュータのネットワーク設定を変更した場合は、設定内容を社内 LAN へアクセスする設定に戻します。通常は、次の操作を実行します。

- TCP/IP ダイアログボックスにある IP アドレスを [IP アドレスを自動的に取得] (Windows 98、2000、または XP の場合) または [DHCP サーバから IP アドレスを取得する] (Windows NT の場合) に設定します。
- 使用している LAN で Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) または Windows Internet Naming Service (WINS) をイネーブルにする必要がある場合は、TCP/IP ダイアログボックスの [DNS 設定] タブまたは [WINS 設定] タブで設定を変更します。

ステップ 2 ストレート型 (CAT-5) LAN ケーブルを PC または Solaris ワークステーションの NIC カードから社内 LAN ポートに直接接続します。

ステップ 3 コンピュータがプロキシ サーバに接続されている場合は、プロキシ サービスをディセーブルにするか、または ONS 15454 ノードを例外として追加します。プロキシ サービスをディセーブルにする場合は、使用している Web ブラウザに応じて次のいずれかの作業を行います。

- [DLP-A56 Internet Explorer によるプロキシ サービスのディセーブル化 \(Windows\) \(p.17-69\)](#)
- [DLP-A57 Netscape によるプロキシ サービスのディセーブル化 \(Windows および UNIX\) \(p.17-70\)](#)

ステップ 4 [「NTP-A23 ONS 15454 GUI へのログイン」 \(p.3-8\)](#) へ進んでください。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-A236 ONS 15454 へのリモート アクセス接続のセットアップ

目的	この手順では、LAN モデムを介して CTC コンピュータを ONS 15454 に接続します。
工具 / 機器	モデムおよびモデムのマニュアル。
事前準備手順	<ul style="list-style-type: none">• NTP-A260 CTC 用コンピュータのセットアップ (p.3-2)• モデムを ONS 15454 に接続する必要があります。• ONS 15454 に対応するようにモデムをプロビジョニングする必要があります。CTC を実行するには、イーサネット アクセスに対応するようにモデムをプロビジョニングする必要があります。
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイト
セキュリティ レベル	なし

ステップ 1 TCC2/TCC2P カード上の RJ-45 (LAN) ポートまたは ONS 15454 バックプレーンの LAN ピンにモデムを接続します。

ステップ 2 モデムのマニュアルを参照しながら次の作業を行って、ONS 15454 用にモデムをプロビジョニングします。

- CTC アクセスの場合は、イーサネット アクセス用にモデムを設定します。
- モデムに ONS 15454 と同じサブネット上の IP アドレスを割り当てます。
- モデムから CTC コンピュータに割り当てる IP アドレスは、そのモデムおよび ONS 15454 と同じサブネット上に存在しなければなりません。



(注) 特定のモデムをプロビジョニングする際のサポートについては、Cisco Technical Assistance Center (TAC) に連絡してください。詳細については、「[テクニカルサポート](#)」(p.xxix) を参照してください。

ステップ 3 「[NTP-A23 ONS 15454 GUI へのログイン](#)」(p.3-8) へ進んでください。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-A23 ONS 15454 GUIへのログイン

目的	この手順では、CTC (ONS 15454 の管理に使用する GUI [グラフィカル ユーザ インターフェイス] ソフトウェア) へログインします。この手順には、任意のノード ログイン作業が含まれています。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-A260 CTC 用コンピュータのセットアップ (p.3-2) 次の手順のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • NTP-A234 ONS 15454 へローカルにクラフト接続するための CTC コンピュータのセットアップ (p.3-4) • NTP-A235 ONS 15454 に社内 LAN で接続するための CTC コンピュータのセットアップ (p.3-6) • NTP-A236 ONS 15454 へのリモート アクセス接続のセットアップ (p.3-7)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	検索以上のレベル

ステップ 1 「DLP-A60 CTC へのログイン」 (p.17-71) を実行します。



(注) CTC 内をナビゲートする方法については、付録 A 「CTC の情報およびショートカット」を参照してください。

ネットワーク トポロジーの検出時に、CTC はネットワークの各ノードでポーリングを行い、CTC ソフトウェアの最新バージョンがあるノードを判別します。CTC により、現在実行中のバージョンより新しいバージョンの CTC ソフトウェアがあるネットワークのノードが検出されると、CTC はネットワークに新しいバージョンの CTC が見つかったことを示すメッセージを生成し、CTC ソフトウェアのアップグレードのインストールを提示します。ネットワーク調査がディセーブルになっている場合、CTC による最新バージョンのソフトウェアの検索は行われません。アップグレード検出には、到達不能なノードは含まれません。



(注) CTC ソフトウェアのアップグレードを行うと、既存のソフトウェアは上書きされます。アップグレードが完了したら、CTC を再起動する必要があります。

ステップ 2 必要に応じて、「DLP-A61 ログイン ノード グループの作成」 (p.17-74) を行います。ログイン ノードグループを使用することにより、Data Communication Channel (DCC; データ通信チャネル) を介してログイン ノードに接続されていないノードを管理できます。

ステップ 3 必要に応じて、「DLP-A62 現在のセッションまたはログイン グループへのノードの追加」 (p.17-75) を行います。

ステップ 4 必要に応じて、「DLP-A339 現在のセッションまたはログイン グループからのノードの削除」 (p.20-34) を行います。

ステップ 5 必要に応じて、「[DLP-A372 指定したログイン ノード グループからのノードの削除](#)」(p.20-62)を行います。

ステップ 6 必要に応じて、「[DLP-A327 CTC Alerts ダイアログボックスの自動ポップアップ設定](#)」(p.20-18)を行います。

終了：この手順は、これで完了です。
